



FAQ

お客さまから多く寄せられる質問と、その回答を集めました。お問い合わせの前に同様の質問がないか、ご確認ください。

電力自由化

そもそも電力自由化とは何ですか。



これまで家庭や商店向けの電気は、各地域の電力会社だけが販売をしており、お客様はどの会社から電気を購入するか選ぶことができませんでした。2016年4月以降は、電気の小売事業への参入が全面的に自由化されることにより、家庭や商店も含むすべての消費者が、電力会社や新たな料金メニューを選ぶことができるようになりました。

発送電分離とは何ですか。（電力供給の仕組み）



電力は、発電所、送電線、変電所、配電線を通じて各ご家庭に供給されます。電力供給は大きく、発電部門、送配電部門、小売部門に分類されます。電力自由化で適正な競争環境が確保されるためには、すべての小売事業者が送配電網を公正・公平に利用できることが不可欠であるため、送配電部門の中立性を一層確保する必要があるとされました。このため、2020年4月より、送配電部門は法的分離（送配電部門の分社化）されることとなりました。

品質・停電

切替後、品質に差がないというのは本当ですか。



電気の品質や信頼性はこれまでと変わらず、停電のリスクがあがることもありません。出光昭和シェル（小売電気事業者：出光興産株式会社）が発電した電気は他の発電所の電気と一緒に送配電されるため、発電所の違いは家庭の電気に影響しません。万が一、出光昭和シェルの発電所が停止しても、他の発電所から電力を融通するため、出光昭和シェルとご契約のお客様だけが停電することはありません。また、電力の自由化後も電線などの送電設備は今までと同じものを使用し、送電事業は一般送配電事業者が引き続き行いますので、品質に変更はありません。

所有する発電所や電源構成はどのようなものですか。



出光昭和シェル（小売電気事業者：出光興産株式会社）が所有する発電所や電源構成は[こちら](#)からご確認ください。

停電が多くなることはないのですか。



停電のリスクが上がるようなことはありません。出光昭和シェル（小売電気事業者：出光興産株式会社）が発電した電気は他の発電所の電気と一緒に送配電されるため、発電所の違いは家庭の電気に影響しません。万が一、出光昭和シェルの発電所が停止しても、他の発電所から電力を融通するため、出光昭和シェルとご契約のお客様だけが停電することはありません。

電気を切り替えた後も、4年に1度の安全調査はありますか。



電気設備の安全調査は、一般送配電事業者が実施することとなりますので、ご利用の電力会社に関わらず、4年に1度の安全調査はこれまで通り実施されます。